

哲学思想基本研究Ⅰ(その3)

2単位 3年(前期)

山口 裕之・准教授/人間文化学科

【授業目的】我々が何かもの考えるときには、さまざまな知識を前提として考えを組み立てる。そうした、「思考の前提」となっているものについて思考することはきわめて困難である。しかしながら「哲学」の仕事とは、そうした「思考の前提」を問い直し、明るみに出そうとするものであるべきだと私は思う。ミシェル・フーコー『言葉と物』を読んで、思考の前提となるべきものの構築過程を知る。

【授業概要】フーコー『言葉と物』研究。毎回、担当者を決め、担当箇所の概要、議論すべき論点、疑問点などを発表してもらう。発表をもとに参加者で議論を行う。おおよそ2、3週間に一章のペースで進める。

【キーワード】科学と哲学、哲学

【履修上の注意】たくさん本を読むこと。毎回の授業で、関連する文献を紹介し、また、研究書の巻末には参考文献が掲載されています。それらを入手し、読み、報告すること。一ヶ月にどんなに少なくとも1冊、できれば週に1冊のペースで読むこと。

【到達目標】

1. 科学史・科学哲学に対する基礎的な知識を身につける。
2. 自ら哲学的に思考する技術を身に付ける。

【授業計画】

1. イントロダクション:授業についての説明など
2. 第1章侍女たち(1)
3. 第1章侍女たち(2)
4. 第2章世界という散文(1)
5. 第2章世界という散文(2)
6. 第3章表象すること(1)
7. 第3章表象すること(2)
8. 第3章表象すること(3)
9. 第4章語ること(1)
10. 第4章語ること(2)
11. 第4章語ること(3)
12. 第5章分類すること(1)
13. 第5章分類すること(2)
14. 第5章分類すること(3)
15. まとめ

【成績評価】担当を分担して報告すること、3分の1以上の欠席をしないことが必要条件。報告の内容や発表の様子、議論への参加、学期末のレポートで総合的に成績評価する。

【再試験】なし。

【教科書】ミシェル・フーコー『言葉と物』新潮社

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218879>

【連絡先】

⇒ 山口 (共通教育4号館404(11年3月まで), 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜10:30-11:30)